

サブドレンNo.16ピットの水質改善について

2015年7月27日

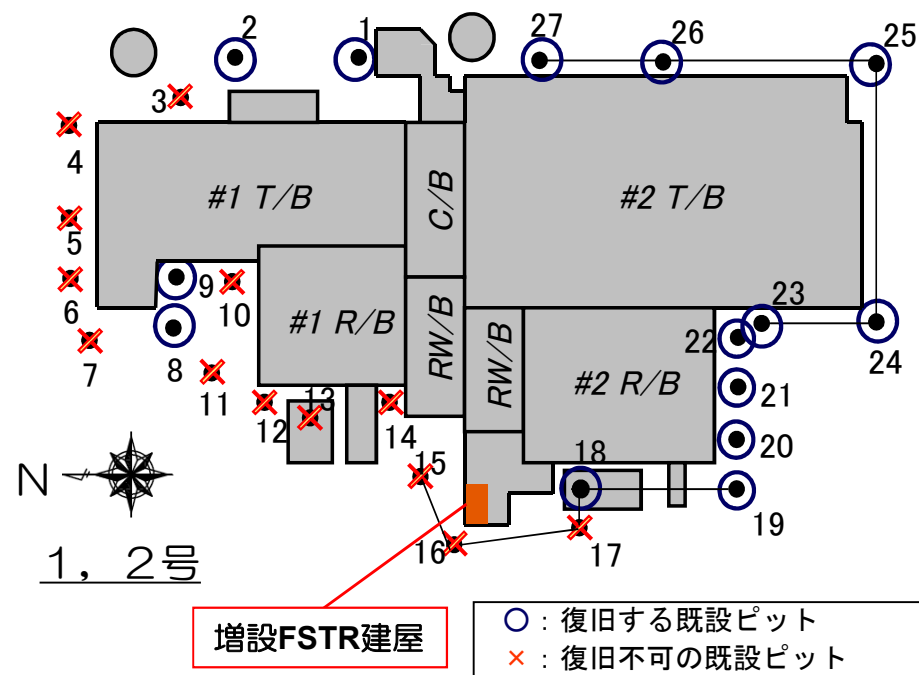
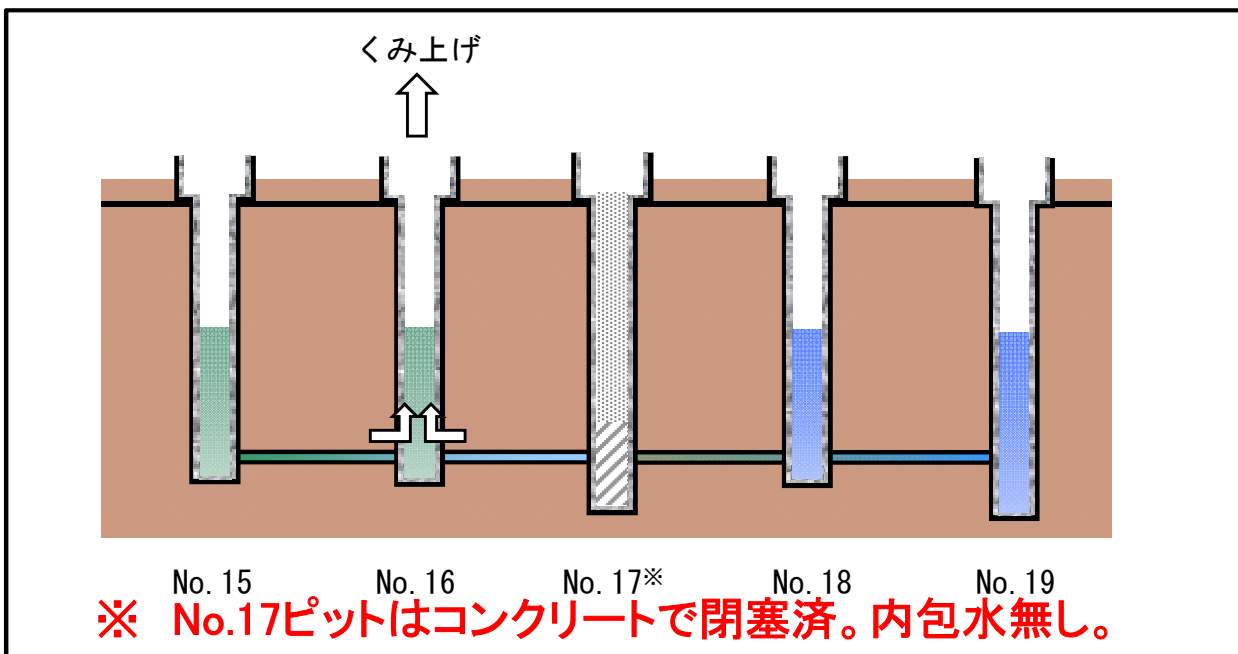
東京電力株式会社



東京電力

サブドレンNo.16ピットの汲み上げ

- 2号機西側No.18, No.19ピットにおいて、セシウム及び全βの濃度が上昇していることを確認。
- No.18, No.19ピットは、瓦礫混入等で復旧が困難であったNo.15, No.16, No.17ピットとピット底部で横引き管で連結しており、No.18, No.19ピットのポンプ稼働により、No.15, No.16, No.17ピットから放射性物質を引き込んだことが要因と考えられる。
- 比較的放射性物質濃度の低いNo.17ピットに充填材を投入し閉塞することにより、未復旧ピット（No.15, No.16）と復旧ピット（No.18, No.19）を分断した。
- No.16ピット近傍の増設FSTR建屋の水位を低下させることができたことから、No.16ピットから汚染した地下水を汲み上げ（約20m³）、ピット内の水質が改善することを確認した。
- 今回、ピット内の放射能濃度を更に低減させるため、監視強化（水位計設置）、移送配管の信頼性向上を実施の上、更なる汲み上げを実施した。



No.16ピット水質改善実績および計画

(Bq/L)



核種	2014.10.29 採取	2015.5.25 採取	2015.7.22 採取
Cs-134	850,000	83,000	150,000
Cs-137	2,900,000	340,000	630,000
全β	3,200,000	390,000	770,000
H-3	84,000	4,100	6,000

- No.16ピットより更に約50m³汲み上げを実施した（7/14～21）。
- 今回汲み上げ後の放射能濃度は、当初（昨年10月）に比べて十分低いものの、前回汲み上げ後（本年5月）に比べて上昇している。
- 今回の汲み上げ期間中に大雨があり、その影響も否定できないことから、当該ピットの放射能濃度の継続監視、及び更なる汲み上げの検討を行う。